

東日本大震災復興支援事業
震災で犠牲となった米国人JET青年（英語指導助手）
テイラー・アンダーソン記念5カ年プロジェクト

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）日米センターでは、JETプログラムで来日し外国人指導助手として活躍中に東日本大震災により一命を落としたテイラー・アンダーソンさん（石巻市・バージニア州ランドルフ・メーコン・カレッジ卒業、写真右）とモンゴメリー・ディクソンさん（陸前高田市・アラスカ州立大学アンカレッジ校卒業）の業績を称え、両氏が日米交流に託した遺志を継ぐことを目的に、それぞれの出身大学において日米交流促進に資する5カ年の記念事業を実施します。



石巻の街をバックに笑顔を見せるアンダーソンさん

今般、同支援のうちの一つである「テイラー・アンダーソン記念プロジェクト」について、両氏の遺族ならびに出身大学に打診した結果、大きな賛同が得られ、ランドルフ・メーコン・カレッジにおける1年目の事業内容詳細が下記の通り決定しました。なお、「モンゴメリー・ディクソン記念プロジェクト」についても、2012年度の開始に向けて現在検討中です。

このほか両氏を記念する事業として、当基金関西国際センターでは、将来日米の架け橋となる米国人高校生を招聘し、日本理解を深めるための研修を行う事業を5年間継続して実施しています。

●「テイラー・アンダーソン記念プロジェクト」事業概要：

プロジェクト1年目の各事業の内容は以下の通りです（括弧内は実施予定時期）。

- (1) ランドルフ・メーコン・カレッジの教員の訪日研修（2012年夏、2週間）
2年目以降に実施予定である「学生の訪日研修」を引率できる教員の育成及び日本関連講座の充実を図るために同校教員が訪日研修を行う。
- (2) バージニア州の小・中・高教員を対象としたワークショップ（2012年春、2日間）
日本の歴史・地理・文化を教える意思を持つ同州の教員に対し、教材やカリキュラムプランの共有を行うワークショップを実施。ウェブサイトを開設し、成果普及を図る。
- (3) テイラー・アンダーソン／ジャパン・ファウンデーション奨学生（2012年夏）
日本語講座で優秀な成績を収めた学生を1～2名選抜し、日本又は米国で実施される日本語集中講座に参加するための奨学金を供与する。
- (4) テイラー・アンダーソン／ジャパン・ファウンデーション研究員（2012年春学期）
日本研究を専門とする教員を雇用し、1年目は日本関連講座（日本文学・映画等）を1講座追加。2年目以降、日本関連研究の基礎となる日本語の講座を増設・充実させる予定。
- (5) テイラー・アンダーソン／ジャパン・ファウンデーション記念ライブラリー（通年）
読書好きだったアンダーソン氏を偲び、古典作品に比べて蔵書が限られている日本の現代文学作品、映画を主に所蔵する同氏の名前を冠した記念ライブラリーを設置。
- (6) テイラー・アンダーソン／ジャパン・ファウンデーション公開セミナー（2012年春）
外部講師を招き、同大学周辺コミュニティの人々も対象に含めた日本文化に関する講演を行う。

●お問合せ：

国際交流基金日米センター 担当：古志（こし）
 TEL：03-5369-6072 / FAX：03-5369-6042
 E-mail：cgpinfo@jpf.go.jp